

令和7年度第3回富津市学校運営協議会（大貫小）会議録（要旨）

○ 参加者

〔委員〕

加藤 悟（会長） 鈴木 真志（副会長） 藤平 勝正 竹内 弘
鈴木 秀弘 杉田 玲子 三木 照恵 秦野 真紀

〔職員〕

佐粧 光一 鈴木 浩一

〔傍聴者〕 5名

○ 概要

（1） 学校評価アンケートの結果について

ア 事務局から結果について説明

イ 事務局の説明に対する委員の意見は次のとおり。

- ・ アンケートの回収率が低いのは、具体的なイメージが湧かず、答えにくいということが原因なのではないか。学校として手立てをとっていることや工夫していることを示すとわかりやすくなり、回答率も上がるかもしれない。
- ・ いじめについて心配の声があったが、普段、子供同士の関係作りのために実践していることや工夫していることを説明できると保護者の安心につながるのではないか。

（2） 学校運営協議会委員の学校評価について

ア 委員の学校経営評価から話したいことについて3点付箋に書いてもらい柱立てとした。（以下の通り）

- ① 学力・学習習慣
- ② 思いやり・友人関係
- ③ その他

イ それぞれの柱立てについて委員からの意見

① 学力・学習習慣

- ・ 宿題の量について、基礎学力を担保するには、ある一定量は必要。
- ・ 手間はかかるが、宿題についてその子供に合った量とペース、目標設定を考えることが大切。
- ・ 今の学校では、学力を身に付けていくことが子供たちの将来にとってとても重要。

② 思いやり・友人関係

- ・ 「いじめのない学校」の質問項目が下がっていることが気になる。
- ・ 「思いやりの心を高める」というイメージがわかりにくい。
- ・ いじめがなくなるのが一番だが、現実的には難しい

③ その他

- ・ 登下校について、子供の意見をよく聞いて、学校生活の諸問題を子供と共に解決していてもよい。教員が全部引き受けなくてよい。
- ・ 熱中症警戒アラートが出ていて運動ができないことが多かったが、エアコンの効いた室内で体力作りを行ってほしい。子供たちが運動不足。
- ・ 運動会の競技について、達成感や感動を味わえるものに厳選してほしい。